



ファシリテーターの問いかけ

「皆さんが自分の性別の理由としてあげたものは、どういったものだったでしょうか」

「性は、男性と女性の2つに分けられ、それは身体の性(セックス)によって決まるという捉え方があります。しかし、実際には性にはかなり多様なあり方があります」

※資料「性の多様性」を配り、適宜、解説します。

「今日、紹介したことの中には、皆さんが初めて知ることや聞いたことがあるかもしれませんが。関心を持った人は、本もいろいろ出ていますので読んでみてください」

「ただ、知識を増やすことが大切なのではありません。知っておいてほしいことは、「性には多様性があり、正しいあり方があるわけではない」ということです」

●多様な性が尊重されるために(15分)

ここまでの内容を振り返って、多様な性のあり方を尊重するために、大切なことはなにかを2人組またはグループで話しあい共有します。



ファシリテーターのコメント

「身近に性的少数者に出会ったことがないという人もいるかもしれませんが、それは、「出会ったことがない」のではなく、「当事者が気づかれないうようにしていた」ということなのかもしれません」

「自分の性のあり方を、どこで／誰に、どのくらいオープンにするかは、その人自身が決めることです。多数派が考えておきたいのは、性的少数者が自分のことをオープンにしたいと思ったときに、安心して自己開示できるには、ふだんからどんなことに留意しておくことが大切かということです」

「他の人権課題にも共通することですが、自分の認識を“ふつう”“あたりまえ”として前提にしてしまわない、相手のあり方やどうしたいかということを尊重するということから始めましょう」

わたしは _____ です。

なぜなら _____ だから ()

なぜなら _____ だから ()

なぜなら _____ だから ()

なぜなら _____ だから ()

なぜなら _____ だから ()

なぜなら _____ だから ()

なぜなら _____ だから ()

なぜなら _____ だから ()

なぜなら _____ だから ()

なぜなら _____ だから ()